

令和6年度 市長と語るまちづくり懇談会（中学生）会議録

日 時：令和6年12月27日（金）午後1時から午後2時30分まで

場 所：周南市役所 シビック交流センター 交流室1

テーマ：若者の力で描く、未来の周南市

出席者：周南市内の中学生 43 名

周南市長

教育長

広報広聴課長

1 懇談会の流れ

- (1) 開会
- (2) 懇談
- (3) 閉会

2 懇談の内容

○：中学生 ●：市長 ▲：教育長 △：広報広聴課長

【夢中になっていることは何ですか】

○部活動、楽器演奏、語学の勉強、サイクリング、スポーツ、絵画、作文、歴史の勉強など。

●皆さんがそれぞれのことに集中して取り組んでいる姿を聞いて嬉しく思う。この時期は成長のために大切な時期である。夢中になれることを見つけ、それに取り組んでほしいし、もしまだ見つかっていなければ、焦らずゆっくり探してほしい。

【地域の魅力は何だと思いますか。それをどう発信すれば若い人が住みたくなると思いますか】

○地域の方々が挨拶をすると必ず挨拶を返してくれる。

○美術博物館や文化会館など人や物を通して交流できる場所があり、様々な歴史や文化を学ぶことができるのが魅力だと思う。

○私はたまに声が出にくくなることがあり、夏休み前の作文発表で市職員の方が発表を成功させるために色々と配慮してくれたことが印象に残っている。そのように細やかな気配りができる人がいることが地域の魅力だと感じている。また、地域によって異なるごみの出し方など、住民が些細なことでも相談できる環境や窓口を整えることで、より住みやすく楽しい生活ができると思う。

●人はそれぞれに様々な事情があるが、それを乗り越えて共に生きていると感じる。私の孫には小学6年生の男の子がおり、彼もまた成長の途中にある。人を思いやって行動できる人がいることで、このまちは素敵になり、より多くの人が訪れるようになるのではないかなと思う。

○周南市は駅周辺の再開発により、まちの活性化が進んでおり、その魅力がある。若い人々はInstagramやTikTokなどのSNSを活用しているため、ショート動画を通じて魅力を発信すれば、若者がここに住んでみたくなると思う。

○以前、ツリー祭りに行って楽しい思い出ができたため、魅力的なイベントが活発に開催す

ることが大切だと思う。

○私は自然豊かな場所が魅力だと思う。住んでいるところは山や川など、たくさんの自然があるため、それが魅力であると感じる。これからも自然豊かな場所に住みたい。

○この地域は工場が多いとよく言われ、マイナスに捉えられがちだと思うが、その一方で、工場で働ける人が多いということは、働く人に優しいまちであると感じる。

●このまちには工場やコンビナート企業があり、それがまちにとって重要な役割を果たしている。ツリー祭りの日にはコンビナートのライトが全点灯し、このまちを応援する多くの人々の存在を象徴している。日本夜景遺産にも選ばれたそのライトアップは、工場で働いている多くの人々の支えがあってこそ実現したものであり、これらの人々がまちを支えていることを感じている。

○自分が感じる地域の魅力は、山口県の田舎特有の温かさである。徳山駅などの少し都会的な場所では挨拶に反応してくれる人が少ないが、自分が住んでいる地域では農家の人々や自然が多く、挨拶を交わしたり、農作物をもらったりすることがあり、まちの温かさを感じる。温かみや落ち着きを求める人に住んでもらいたいと思う。

●温かさは、人が住む場所で最も大切なものだと思う。ぜひその温かさを他の人にも伝えてほしい。それが発信につながると考えている。小さな力も集まれば大きな力になるので、皆で協力していくことが大切だと思う。

○小中学生などの医療費が無料なので、そういう支援も魅力の一つだと思う。

●本市では少子化対策として、長年にわたり子どもたちが健やかに育つために行政が取り組んできた。現在、高校3年生まで医療費が無料で、保育園の保育料にも取り組んでいる。これらは県と共同で実施している部分もあるので説明は難しいが、すべての子どもたちが元気に成長してほしいと願っている。また、地域の人々からの意見や提案を聞きたいとも考えている。

●このまちは、皆さんが感じているように、とても温かいまちであると私も思う。自然が豊かで、文化もあり、適度な都会感も備えている。山口県の中でも周南市は素晴らしいと言われている。駅前もここ数年で大きく変わり、徳山駅周辺も次々と店舗がオープンしていく予定である。これをどう発信していくか方法を考え、皆さんがそれぞれの友人を通じて、さまざまな形で伝えてほしい。

△広報広聴課では、市の情報発信に取り組んでいるが、もし中学生らしい視点で「こんなことをやったらいいのでは？」という提案があれば、ぜひ教えてほしい。

○徳山駅は市外や県外から人が集まる場所なので、徳山駅周辺で周南市の魅力を伝えるイベントを開くと良いと思う。自然とまちが融合した形で、周南市の良さを伝えられるイベントが開催できれば、地域の魅力をより多くの人々に知ってもらえると思う。

○市内の人々に向けて、電光掲示板などを活用してイベント情報を伝えるのが効果的だと思う。ホームページやチラシもよく見られているが、一時的なイベントの場合、電光掲示板のように人目につく場所に表示することで、より多くの人に情報が届きやすくなると思う。私達も頑張ろうと思う。

△電光掲示板や駅のサイネージは多くの人が目にしているが、目立つのは難しいと感じている。特に、民間の企業が広告にお金をかけている中で、行政は限られた予算で頑張っているため、広報活動の難しさを感じている。しかし、これからはもっと効果的に目立つよう

な取り組みをしていかなければならないと考えている。

○周南市出身の有名人（いかちゃんやはるちさん）に Instagram や TikTok などでも市の魅力を発信してもらおうと、多くの人に見てもらえると思う。

【市長になったらやってみたいことは何ですか】

○公園は多いと思うし、ショッピングできるところもあるが、何度も訪れるうちに飽きてしまう。中高生が遊びにお金を使い過ぎないように、運動系のスポットを作りたい。

○市長になったら、市内の全ての小中学校の特別教室や体育館にエアコンを設置したい。現在、体育館では月 1 回の集会があるが、冬は寒く、夏は暑くて集中できないことが多い。そうした環境を改善し、冷暖房を使ってやる気を引き出せるような環境を作りたい。

●エアコンはなるべく設置したいと考えているが、財源の問題もある。現在、普通教室にはエアコンが設置されており、次に特別教室に設置する予定だが、予算に限りがあるため順番に進めなければならない。もし潤沢な予算があれば、全ての教室に設置していたと思う。

▲特別教室については、残念ながら皆さんが中学生の間には使用できないが、現在設置できるよう準備を進めている。体育館については、市長にぜひ協力をお願いしたい。

●できる限り早く対応したいと考えている。皆さんが困っていることは理解している。学校は災害時には避難場所としても使用されるため、地域の人々が集まった際に暑さや寒さで避難場所として機能しないことがないように配慮したい。現在の中学生の間には間に合わないかもしれないが、計画をしっかりと立てて進めていきたい。

○夜間の道が暗い場所が多いため、まち灯の整備を進めたい。

●県道にあった街灯は老朽化し、支柱が倒れる危険があったため、現在は撤去されている。そのため、まちが暗くなってしまった場所が多くなっていると思うので、何らかの対応を検討したいと考えている。

○地域を大切にする政策を進めたいと考えている。地域との交流を大切にし、まちを盛り上げることが重要だと思っている。小学校から高校まで、地域と地域との連携が全体的に広がり、交流ができるような環境を作ることが目標だ。

○熊毛地域は市内の端に位置しており、地元の若者が遊ぶ場所が少なく、地域に残らないという問題がある。遊び場やスーパーマーケットなどの施設を作り、若者が地域に関わり、世代間の連携を強化して、地域に呼び寄せる必要があると思う。

○市長になったら、小中学校の給食費を無償化したいと考えている。無償化することで、給食費を振り込む作業が不要になり、保護者や職員の負担を減らし、仕事にもっと集中できるようになると思う。

▲給食費で支払われているのは、給食の材料費のみであり、給食センターの建設費やそこで働く人々の給与などは含まれていない。これらの費用は市の予算で賄われており、支払われる金額について理解してほしい。

○市内の人々の不安を全て聞き、より快適に過ごせるまちづくりを進めたい。また、スポーツができる場所が少ないと感じており、遊び場をもっと作りたい。

●市長として最初に掲げた公約は、市民の皆さんに寄り添い、分かり合える市政を進めることだと約束した。日々、皆さんの不安や楽しいことを聞くようにしており、何かあれば遠慮なく伝えてほしい。

- バスケットボールが好きなので、バスケットコートを作りたい。
- 市長になったら、自転車をもっと移動しやすいように道路を改善したいと考えている。普段自転車で移動することが多く、歩道や車道の両方で危険を感じるがあった。周防大島を訪れた際、自転車に力を入れていることが感じられ、たくさんの自転車が走っているのを見て、周南市も同様に自転車が快適に走れるような道路を作ることで、地域の活性化にもつながると考えている。
- 快適にということは、安全にということでもあるため、できる限りその実現に向けて取り組んでいかなければならないと感じている。
- コンビニやスーパーをもっと増やしたいと考えている。自宅の近くにはコンビニが少なく、駅にも車を使わなければならないため、お年寄りの方々にとっては不便だと感じている。歩いて行ける範囲にコンビニやスーパーがあれば、もっと住みやすいまちになると思っている。
- 周南市独自の休日の制度を作り、家族が特別に休みを取れるようにしたいと考えている。その休みを周南市内の観光の日に設定し、市内の良いところを知ってもらうことができればいいと思っている。
- ▲特別な日を設けることについては、家族の日を利用しても良いかもしれない。県では3日間の休みが取れることを知っている人も多いと思う。その休みを活用して、家族で楽しめる場所を見つけると良いかと思う。要望が多ければ、周南市独自の休みについて、市長と共有しながら進めていきたい。
- 地域の方々や外国人の方々との交流イベントを開きたい。
- 市長になったらやってみたいことがいくつかあり、その中で今回の意見交換は未来のまちづくりについて考える良い機会になったと感じている。少し先の未来を考えることは重要であり、何をしてほしいかという声を聞くことで多くのアイデアが出るが、自分から発信する機会も貴重だと感じている。皆さんの意見を今後の市政に生かしていきたいと考えており、これからもよろしくお願いしたい。

【市長に聞いてみたいこと】

- 徳山駅周辺の再開発が進む一方で、新南陽駅周辺はあまり再開発が進んでいないように思うが計画などはあるか。徳山駅のように人が賑わい、交流できる場所があれば、自然と人が集まるのではないかと思う。特に、徳山駅のように気軽に会話ができるスペースがあると嬉しい。
- 徳山駅周辺の再開発は、民間の力で進められている。福川駅の駅舎は古く、利用者のことを考えると何らかの検討が必要だと考えている。
- 野犬の保護についてはどう思っているか。
- 令和元年当時、本市には野犬が多く、市内各地に出没していた。市長就任後、市・県・警察が協力して協議会を設置し、野犬対策を実施してきた。約700頭を捕獲し、殺処分ではなく保護し、市民に譲渡する方法を模索した。捕獲数は年々減少し、子犬は比較的容易に譲渡できるが、成犬は人に慣れさせる必要がある。かつて周南市は「野犬のまち」として全国から注目を集め、誤解を招く報道もあったが、実際には譲渡を推進している。現在も保護団体と協力し、不妊去勢手術の費用を負担しながら犬を預かってもらう取り組みを継

続している。

○私は看護師を目指している。市長はもともと看護師だったが、市長を目指すことになったきっかけは。

●私は徳山高校を卒業後、広島で3年間学び、資格を取得して看護師として4年間勤務した。結婚を機に広島から戻り、家族で暮らしていたが、山口県議会議員だった夫が亡くなり、私自身が看護師でありながら病気を見つけられなかったことに苦しんだ。その後、県議選に立候補し、49歳で初当選。家庭介護や看護師経験、ボランティアの活動経験を生かしながら16年間県議を務めた。5期目を目指す中、市長選が重なり、「まちの品格と誇りを取り戻す」という思いで立候補し、市長就任のきっかけとなった。

○まちづくりで大切にしていることややりがいとは何か。

●まちづくりで大切にしていることは市民の意見を大切にし、目の前の課題解決だけでなく、将来を見据えた施策を考えること。目の前の問題を解決しつつ、持続可能な仕組みを作り、将来世代が困らないまちづくりを目指している。特に「2050年を乗り越えられる周南市」を掲げ、人口減少対策やカーボンニュートラル推進に取り組んでいる。

仕事のやりがいは、市長として、市のあらゆる面に目を配りながら、市民の声に応え、まちの未来を考えることに大きなやりがいを感じている。職員や市民とともに課題解決に取り組み、まちが変化し、評価されることが励みになっている。忙しく疲れることもあるが、使命感を持って未来の世代のために尽力している。

最後に、皆さんが今日話してくれたことは、市政に生かしていく。そして、このまちで皆さんが活躍し続けられるよう、私も全力をつくす。一緒に、未来の周南市を作り上げていきたい。